

物部川地域アクションプランの追加・削除・拡充等 (予定項目)

物 部 川 地 域 本 部
令和7年1月31日(金)

地域アクションプランへの支援の方向性

新規事業の掘り起こしや既存事業が抱える課題の解決を図りながら、地域アクションプランの実現に向けて、産業振興推進地域本部を中心に取り組みを推進していく。

（１）地域アクションプランの実行支援

- ①課題解決型アドバイザーと連携して、個別課題の解決を支援
- ②課題一貫支援型アドバイザーと連携して、地域への経済波及効果が大きい案件の全体的な課題の整理・分析及び解決策の検討を支援
- 拡** ③中山間地域における正規雇用の拡大を図るため、実施主体が取り組む設備投資への支援を強化

（２）新たな地域アクションプランの掘り起こし

- ①発掘支援型アドバイザーと連携して、地域アクションプランへの位置付けを目指す取り組みを掘り起こし
- 拡** ②地域おこし協力隊や起業者の情報を基に個別訪問を行うなど、市町村や商工会等と連携した取り組みを強化

地域アクションプランの増減 R6年度 153件 → R7年度 156件（+3）

（1）追加（新規）： 4 件

- 日高村におけるクラフトビール工房を軸にした交流人口の拡大と地域の活性化（日高村）
- 仁淀川町「池川こんにゃく」の生産拡大による地域の活性化（仁淀川町）
- 仁淀川町の町内資源を活用したジン・ウイスキーのブランド化による地域の活性化（仁淀川町）
- 仁淀川町アウトドアリゾートプロジェクト（仁淀川町）

（2）削除（廃止）：▲ 2 件

- くろしおミウガ販売拡大プロジェクト（須崎市、中土佐町、津野町）
- 佐賀地域の資源を活用した拠点ビジネス推進（黒潮町）

（3）分割： 1 件

- 宿毛市の地域資源を活用した観光振興（宿毛市）
→[分割] 道の駅「すくもサニーサイドパーク」を拠点とした地域振興（宿毛市）

	R6年度 (第5期)	R7年度 (第5期Ver.2)				
	AP数 R7.1月時点	増減				AP数
		追加	削除	分割	計	
安芸	20					20
物部川	19					19
高知市	14					14
嶺北	16					16
仁淀川	29	4			4	33
高幡	25		▲ 1		▲ 1	24
幡多	30		▲ 1	(1→2) 1		30
合計	153	4	▲ 2	1	3	156

物部川地域アクションプラン項目（第5期計画（R6年度））と第5期計画Ver.2（R7年度）の対比表

【物部川地域】

No.	現在(令和6年度)	南国市	香南市	香美市
		7	7	8
1	日本一のニラ産地拡大による地域農業の活性化		●	●
2	南国市野菜の生産拡大及び地産地消・地産外商の推進	●		
3	「なの市」等の売上拡大による農家所得の向上	●		
4	「ごめんケンカシャモ」のブランド化の取り組み	●		
5	高知県産ワインの生産拡大及びブランド化の推進		●	
6	ものづくりサポートセンターを核とする中心市街地の活性化	●		
7	香南市中心市街地の振興		●	
8	香美市の伝統産業(土佐打刃物、フラフ)の振興			●
9	土佐山田えびす商店街を中心とする地域の活性化			●
10	香美市における地域食材を活用したクラフトビールの製造・販売			●
11	物部川地域における広域観光の推進	●	●	●
12	南国市の地域資源を活用した観光の推進	●		
13	南国市の観光農園を活用した体験型・滞在型観光の推進	●		
14	香南市におけるスポーツ・体験観光等の取り組みの推進		●	
15	ヤ・シィパークを核とする地域の活性化の推進		●	
16	三宝山エリアにおける観光拠点化の推進		●	
17	香美市における滞在型・体験型観光の推進			●
18	龍河洞エリアにおける地域の活性化の推進			●
19	べふ峡温泉を中心とした物部エリアの観光振興			●

No.	改定案(令和7年度)	南国市	香南市	香美市
		7	7	8
	1 日本一のニラ産地拡大による地域農業の活性化		●	●
	2 南国市野菜の生産拡大及び地産地消・地産外商の推進	●		
	3 「なの市」等の売上拡大による農家所得の向上	●		
	4 「ごめんケンカシャモ」のブランド化の取り組み	●		
	5 高知県産ワインの生産拡大及びブランド化の推進		●	
	6 ものづくりサポートセンターを核とする中心市街地の活性化	●		
	7 香南市中心市街地の振興		●	
	8 香美市の伝統産業(土佐打刃物、フラフ)の振興			●
	9 土佐山田えびす商店街を中心とする地域の活性化			●
	10 香美市における地域食材を活用したクラフトビールの製造・販売			●
	11 物部川地域における広域観光の推進	●	●	●
①拡充	12 南国市の地域資源を活用した観光の推進	●		
	13 南国市の観光農園を活用した体験型・滞在型観光の推進	●		
②拡充	14 香南市におけるスポーツ・体験観光等の取り組みの推進		●	
	15 ヤ・シィパークを核とする地域の活性化の推進		●	
	16 三宝山エリアにおける観光拠点化の推進		●	
③拡充	17 香美市における滞在型・体験型観光の推進			●
	18 龍河洞エリアにおける地域の活性化の推進			●
	19 べふ峡温泉を中心とした物部エリアの観光振興			●

物部川地域アクションプランの追加・削除・拡充等(予定項目)

■追加

なし

■削除

なし

■その他(拡充、統合、分割等)

NO.	アクションプラン名	見直しする内容
1	No. 12 南国市の地域資源を活用した観光の推進(南国市) 【実施主体】(一社)南国市観光協会、南国市、南国市観光クラスター連絡協議会、市内各観光に関わる企業・団体・グループ	【拡充】 令和7年春からの連続テレビ小説「あんぱん」の放送に合わせ、物部川流域の3市共催で開催する観光博覧会の取り組みを追加する。
2	No. 14 香南市におけるスポーツ・体験観光等の取り組みの推進(香南市) 【実施主体】(一社)香南市観光協会、香南市、地域の体験メニュー等提供団体	同上
3	No. 17 香美市における滞在型・体験型観光の推進(香美市) 【実施主体】(一社)香美市観光協会、香美市、(株)香北ふるさとみらい、地域内の観光施設、体験型観光メニュー等の提供団体	同上

修正項目(案)

修正前

物部川地域アクションプラン

	分野	農業
AP 名 (実施地域)	No.2 南国市野菜の生産拡大及び地産地消・地産外商の推進 (南国市)	
実施主体	◎JA 高知県(土長地区)、◎JA 高知県出資農業生産法人(株)南国スタイル、◎南国市、Aitosa(株)、(株)イチネン農園、(株)トリムエレクトリックマシナリー、(株)はぐみ農園	
AP への位置づけ	H21.4月	
事業概要	南国市産の主要農作物(シシトウ、ニラ、ピーマン類)及び還元水素水を活用した野菜(還元野菜)の産地の維持・拡大のため、新規設立農業法人をはじめとする関係機関との協力により、コスト削減や品質改善、出荷課題の解決などに取り組み、生産・流通・販売の課題を解決し、地産地消・地産外商を推進することで、南国市の農業をはじめとした地域産業の活性化を図る。	

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
シシトウの生産拡大	・四国電力(株)の農業参入 農業参入協定締結及び Aitosa(株)設立(R2) Aitosa(株)ハウス整備(R3) Aitosa(株)への技術支援(R3～) ・新規就農者の経営安定に向けた支援(R2～)	【成果】 ・シシトウ: Aitosa(株)収量目標達成(12.6t/10a R5 園芸年度) シシトウ新規就農者に対する栽培指導により経営の安定化につながった。 収量目標達成 4 戸/5 戸 ・ニラ:生産量が目標達成 ・ピーマン類: (株)イチネン農園は、収量目標を達成できなかったものの、R 元から生産量は増加している。
ニラの生産拡大	・調製作業省力化設備の設置に向けた協議(R2～3) ・調製作業省力化設備の運営(R3～4) 出荷量が安定しない等により運営休止	
ピーマン類の生産拡大	・(株)イチネン農園の参入 農業参入協定締結(R4) (株)イチネン農園ハウス整備(R4) (株)イチネン農園への技術支援(R4～)	
「還元野菜」の販売拡大	・メロン、イチゴ等の生産支援 ・栽培管理へ支援	・還元野菜: 安定的な販売実績 ・南国野菜の地産地消の推進:
「南国野菜」の地産地消の推進	・市内小学校へ給食用食材として地元野菜の供給を続けることで地産地消の啓発を続ける。 ・農家レストラン「まほろば畑」による地元野菜の広報実施	南国市の給食での地元野菜の利用は目標達成 【課題】 ・生産の維持・拡大に向けた施設整備、経営安定化 ・地産外商及び地産地消の取り組みの継続

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
(1)シシトウ生産量※	492t (R5)				548t
(2)ニラ生産量※	793t (R5)				880t
(3)ピーマン類生産量※	1,039t (R5)				1,220t
(4)「還元野菜」の売上高	917 万円 (R4)				1,100 万円
(5)学校給食における地元野菜の供給割合(金額ベース)	28.38% (R4)				27.0%

※園芸年度：9月～8月

第5期計画における行程表					
事業概要	R6	R7	R8	R9	
シシトウの生産拡大 ■JA 高知県(土長地区) ・規模拡大、新規就農者育成の支援 ■Aitosa(株) ・新たなハウスの整備による生産拡大 □南国市、県(中央東農業振興センター等) ・生産拡大、担い手育成等及び Aitosa(株)のハウス整備に対する支援					
ニラの生産拡大 ■JA 高知県(土長地区) ・規模拡大、増収・品質向上、新規就農者育成 □南国市、県(中央東農業振興センター等) ・規模拡大、増収・品質向上、新規就農者育成支援					
ピーマン類の生産拡大 ■JA 高知県(土長地区) ・規模拡大、増収・品質向上、新規就農者育成 ■(株)はぐみ農園 ・ハウス整備による生産拡大 □南国市、県(中央東農業振興センター等) ・生産拡大、担い手育成等及び(株)はぐみ農園のハウス整備に対する支援					
「還元野菜」の販売拡大 ■(株)トリムエレクトリックマシナリー、(株)南国スタイル等 ・パプリカ、メロン等還元野菜の栽培、ネット等の販売拡大 □県(中央東農業振興センター、地域本部等) ・栽培技術や販売促進支援					
「南国野菜」の地産地消・地産外商の推進 ■南国市、(株)南国スタイル ・市内小学校の給食用食材として南国野菜を利用 ■民間事業者 ・南国野菜を活用した商品の開発・製造・販売 ・農家レストラン「まほろば畑」等での料理提供や南国野菜の PR ・(株)南国スタイル等による農業体験ツアーの実施 □県(観光振興部、地域本部) ・関係者への情報提供、PR 実施					

修正後

物部川地域アクションプラン		分野	農業
AP 名 (実施地域)	No.2 南国市野菜の生産拡大及び地産地消・地産外商の推進 (南国市)		
実施主体	◎JA 高知県(土長地区)、◎JA 高知県出資農業生産法人(株)南国スタイル、◎南国市、Aitosa(株)、(株)イチネン農園、(株)トリムエレクトリックマシナリー、(株)はぐみ農園		
AP への位置づけ	H21.4月		
事業概要	南国市産の主要農作物(シシトウ、ニラ、ピーマン類)及び還元水素水を活用した野菜(還元野菜)の産地の維持・拡大のため、新規設立農業法人をはじめとする関係機関との協力により、コスト削減や品質改善などに取り組み、生産・流通・販売の課題を解決し、地産地消・地産外商を推進することで、南国市の農業をはじめとした地域産業の活性化を図る。		

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
シシトウの生産拡大	・四国電力(株)の農業参入 農業参入協定締結及び Aitosa(株)設立(R2) Aitosa(株)1号棟ハウス整備(R3) Aitosa(株)への技術支援(R3～) Aitosa(株)2号棟ハウス整備(R5～6) ・新規就農者の経営安定に向けた支援(R2～)	【成果】 ・シシトウ: Aitosa(株)収量目標達成(12.7t/10a R6園芸年度) シシトウ新規就農者に対する栽培指導により経営の安定化につながった。 収量目標達成 4戸/5戸 ・ニラ:生産量が目標達成 ・ピーマン類: (株)イチネン農園収量目標達成(22.1t/10a R6園芸年度) R元から生産量は増加している。
ニラの生産拡大	・調製作業省力化設備の設置に向けた協議(R2～3) ・調製作業省力化設備の運営(R3～4) 出荷量が安定しない等により運営休止	
ピーマン類の生産拡大	・(株)イチネン農園の参入 農業参入協定締結(R4) (株)イチネン農園ハウス整備(R4) (株)イチネン農園への技術支援(R4～) ・(株)はぐみ農園の参入 (株)はぐみ農園ハウス整備(R6)	
「還元野菜」の販売拡大	・メロン、イチゴ等の生産支援 ・栽培管理へ支援 ・パプリカ、メロン等の還元野菜のインターネット通販 ・販路拡大に向けた売り込み	・還元野菜: 安定的な販売実績 ・南国野菜の地産地消の推進:
「南国野菜」の地産地消の推進	・市内小学校へ給食用食材として地元野菜の供給を続けることで地産地消の啓発を続ける。 ・農家レストラン「まほろば畑」による地元野菜の広報実施 ・(株)南国スタイル等による農業体験ツアー受入れに向けた検討	南国市の給食での地元野菜の利用は目標達成 【課題】 ・生産の維持・拡大に向けた施設整備、経営安定化 ・地産外商及び地産地消の取り組みの継続

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
(1)シシトウ生産量※	492t (R5)	439.5t			548t
(2)ニラ生産量※	793t (R5)	762.4t			880t
(3)ピーマン類生産量※	1,039t (R5)	1,059.2t			1,220t
(4)「還元野菜」の売上高	917万円 (R4)				1,100万円
(5)学校給食における地元野菜の供給割合(金額ベース)	28.38% (R4)				27.0%

※園芸年度：9月～8月

第5期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
シシトウの生産拡大 ■JA 高知県(土長地区) ・規模拡大、新規就農者育成の支援 ■Aitosa(株) ・新たなハウスの整備による生産拡大 □南国市、県(中央東農業振興センター等) ・生産拡大、担い手育成等及び Aitosa(株)のハウス整備に対する支援				
	生産拡大対策			
		ハウス運営		
	ハウス整備			
ニラの生産拡大 ■JA 高知県(土長地区) ・規模拡大、増収・品質向上、新規就農者育成 □南国市、県(中央東農業振興センター等) ・規模拡大、増収・品質向上、新規就農者育成支援				
	生産拡大対策			
ピーマン類の生産拡大 ■JA 高知県(土長地区) ・規模拡大、増収・品質向上、新規就農者育成 ■(株)はぐみ農園 ・ハウス整備による生産拡大 □南国市、県(中央東農業振興センター等) ・生産拡大、担い手育成等及び(株)はぐみ農園のハウス整備に対する支援				
	生産拡大対策			
		ハウス運営		
	ハウス整備			
「還元野菜」の販売拡大 ■(株)トリムエレクトリックマシナリー、(株)南国スタイル等 ・パプリカ、メロン等還元野菜の栽培、ネット等の販売拡大 □県(中央東農業振興センター、地域本部等) ・栽培技術や販売促進支援				
	販売拡大対策			
「南国野菜」の地産地消・地産外商の推進 ■南国市、(株)南国スタイル ・市内小学校の給食用食材として南国野菜を利用 ■民間事業者 ・南国野菜を活用した商品の開発・製造・販売 ・農家レストラン「まほろば畑」等での料理提供や南国野菜のPR ・(株)南国スタイル等による農業体験ツアーの実施 □県(観光振興スポーツ部、地域本部) ・関係者への情報提供、PR 実施				
		地産地消・地産外商の推進		

修正前

物部川地域アクションプラン

	分野	農業
AP 名 (実施地域)	No.4 「ごめんケンカシャモ」のブランド化の取り組み (南国市)	
実施主体	◎企業組合ごめんシャモ研究会、南国市商工会、南国市	
AP への位置づけ	H23.4 月	
事業概要	イベント販売や加工品販売により、県内外に向けてご当地グルメとして情報発信を行うとともに、ごめんケンカシャモの飼育・安定供給体制を整備し、トレーサビリティの確立等による高付加価値化を図ることで、ブランド鶏肉としての外商戦略を展開していく。 これらの生産から販売までの過程を通して、ごめんケンカシャモの認知度を向上させ、南国市を訪れてもらう『地産「来」消』の仕組みの確立を図る。	

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
ごめんケンカシャモの安定供給体制の確立	・直営鶏舎の整備、飼育（H24～） ・貯卵・孵卵設備を高知農業高校に整備（H26.1 月） →産振補助金の活用 ・食鳥加工センターの整備（H29） →ものづくり補助金の活用 ・県版 HACCP 第 2 ステージの認証取得（H31.4 月） ・食鳥処理の外注（R2～） ・鳥獣被害対策等の実施（R3～）	【成果】 ・ごめんケンカシャモ提供店舗数（市内） R5:16 店舗 ・貯卵から販売までの過程を一括管理出来る体制の構築
加工品開発及びご当地グルメとしての確立	・ごめんシャモ鍋社中（市内提供店舗）による PR 活動（H22～） ・加工品（シャモ鍋セット）の開発（H23） →産振補助金の活用 ・直営のシャモ料理専門店「軍鶏伝」の運営(H27～)	【課題】 ・シャモ肉の安定供給のための生産体制の強化 ・組織の強化
組織の強化	・定例会の開催（毎月） ・経営改善計画の策定（R5.9 月）	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
(1)売上高	3,492 万円 (R4)				5,811 万円
(2)飼育羽数	930 羽 (R4)				1,442 羽

第 5 期計画における行程表					
事業概要	R6	R7	R8	R9	
ごめんケンカシャモの安定供給体制の確立 ■企業組合ごめんシャモ研究会 ・飼育データの収集・蓄積による年間生産計画の確立と飼育体制の強化 ・地元高校等、教育機関と連携した飼育の実施 □県（農業振興部・地域本部等） ・飼育に関する指導・情報提供、衛生管理支援 ・各種支援制度に関する情報提供					
ご当地グルメとしての確立 ■企業組合ごめんシャモ研究会 ・イベントを通じた PR 活動、軍鶏伝、マスメディア等を活用した情報発信 ・「シャモ鍋社中」加盟飲食店によるシャモ料理提供、同志（加盟店）の増加に向けた活動 ・商談会参加等による都市圏外食産業への販売セールス、ネット販売やふるさと納税を活用した販路開拓、販売促進 ■南国市 ・ふるさと納税返礼品による商品の PR、イベント等の紹介 □県（地域本部等） ・イベントの紹介、関係者への橋渡し					
加工品開発 ■企業組合ごめんシャモ研究会 ・新たな加工品の開発 ・生産量・品質の維持管理及び衛生管理の向上、高付加価値化 □県（地域本部等） ・セミナー、商談会等の紹介、関係者への橋渡し					
組織の強化 ■企業組合ごめんシャモ研究会 ・組織の方向性の明確化、資金管理による経営強化 ・部門別（営業、経理、加工等）の人材育成 ■南国市 ・地域おこし協力隊の配置 ■南国市商工会等 ・経営強化へのアドバイス、経営計画進捗管理支援					

物部川地域アクションプラン		分野	農業
AP 名 (実施地域)	No.4 「ごめんケンカシャモ」のブランド化の取り組み (南国市)		
実施主体	◎企業組合ごめんシャモ研究会、南国市商工会、南国市		
AP への位置づけ	H23.4 月		
事業概要	イベント販売や加工品販売により、県内外に向けてご当地グルメとして情報発信を行うとともに、ごめんケンカシャモの飼育・安定供給体制を整備し、トレーサビリティの確立等による高付加価値化を図ることで、ブランド鶏肉としての外商戦略を展開していく。 これらの生産から販売までの過程を通して、ごめんケンカシャモの認知度を向上させ、南国市を訪れてもらう『地産「来」消』の仕組みの確立を図る。		

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
ごめんケンカシャモの安定供給体制の確立	・直営鶏舎の整備、飼育（H24～） ・貯卵・孵卵設備を高知農業高校に整備（H26.1 月） →産振補助金の活用 ・食鳥加工センターの整備（H29） →ものづくり補助金の活用 ・県版 HACCP 第 2 ステージの認証取得（H31.4 月） ・食鳥処理の外注（R2～） ・鳥獣被害対策等の実施（R3～）	【成果】 ・ごめんケンカシャモ提供店舗数（市内） R6:16 店舗 ・貯卵から販売までの過程を一括管理出来る体制の構築
加工品開発及びご当地グルメとしての確立	・ごめんシャモ鍋社中（市内提供店舗）による PR 活動（H22～） ・加工品（シャモ鍋セット）の開発（H23） →産振補助金の活用 ・直営のシャモ料理専門店「軍鶏伝」の運営(H27～)	【課題】 ・シャモ肉の安定供給のための生産体制の強化 ・組織の強化
組織の強化	・定例会の開催（毎月） ・経営改善計画の策定（R5.9 月）	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
(1)売上高	3,492 万円 (R4)				5,811 万円
(2)飼育羽数	930 羽 (R4)				1,442 羽

第 5 期計画における行程表					
事業概要	R6	R7	R8	R9	
ごめんケンカシャモの安定供給体制の確立 ■企業組合ごめんシャモ研究会 ・飼育データの収集・蓄積による年間生産計画の確立と飼育体制の強化 ・地元高校等、教育機関と連携した飼育の実施 □県（農業振興部・地域本部等） ・飼育に関する指導・情報提供、衛生管理支援 ・各種支援制度に関する情報提供					生産体制の強化
ご当地グルメとしての確立 ■企業組合ごめんシャモ研究会 ・イベントを通じた PR 活動、軍鶏伝、マスメディア等を活用した情報発信 ・「シャモ鍋社中」加盟飲食店によるシャモ料理提供、同志（加盟店）の増加に向けた活動 ・商談会参加等による都市圏外食産業への販売セールス、ネット販売やふるさと納税を活用した販路開拓、販売促進 ■南国市 ・ふるさと納税返礼品による商品の PR、イベント等の紹介 □県（地域本部等） ・イベントの紹介、関係者への橋渡し					ご当地グルメとしての確立
加工品開発 ■企業組合ごめんシャモ研究会 ・新たな加工品の開発 ・生産量・品質の維持管理及び衛生管理の向上、高付加価値化 □県（地域本部等） ・セミナー、商談会等の紹介、関係者への橋渡し					販路開拓・販売促進
					加工品開発
組織の強化 ■企業組合ごめんシャモ研究会 ・組織の方向性の明確化、資金管理による経営強化 ・部門別（営業、経理、加工等）の人材育成 ■南国市商工会等 ・経営強化へのアドバイス、経営計画進捗管理支援					経営力の向上

修正前

物部川地域アクションプラン		分野	商工業
AP 名 (実施地域)	No. 6 ものづくりサポートセンターを核とする中心市街地の活性化 (南国市)		
実施主体	◎南国市、◎南国市商工会、◎(株)海洋堂高知、南国市中心市街地振興協議会		
AP への位置づけ	H21.4 月		
事業概要	「ものづくり、ひとづくり、まちづくり」の拠点施設となる、ものづくりサポートセンターの整備を契機として、中心商店街がものづくりを志す人材が集うまちとなるよう、交流人口の拡大や商店街の活性化に資する取り組みを行う。		

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
中心市街地の賑わい創出	・「ごめんまち将来像プラン」の策定（H27） ・中心市街地振興計画の策定（R2）	【成果】 ・チャレンジショップオープン（R3.6～） ・チャレンジャー 累計 3 名 ・拠点施設の整備 R 元.8 月着工 ⇒ R2.12 月竣工 ⇒ R3.3.21 グランドオープン
各種イベントの開催や 空き店舗の活用等	・(株)海洋堂と南国市による連携協定の締結（H28） ・(株)海洋堂と連携したジオラマ教室や「みんなのモノづくり展」、「ナンコクフェスティバル」等のイベントの開催（H28～） ・ものづくりイベント「ごめん tete マルシェ」の開催（R 元～） ・「ソフビ・アートフェスティバル in NANKOKU」の開催（R3） ・「ごめん tete マルシェ」と「ごめんの軽トラ市」の同時開催（R4.10～）	【課題】 ・日常的な賑わいを創出するために、地域住民と一体となった取り組みの実行 ・ものづくりサポートセンターへの集客と、周辺地域と連携した地域活性化の推進
拠点施設の運営等	・中心市街地活性化協議会による南国市地域経済活性化計画の策定（H30） ・ものづくりサポートセンターの整備（R 元～2） →地域経済活性化拠点施設整備等事業費補助金の活用 ・空き店舗調査（R2～）	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
(1)エリア内の売上高	10 億 9,061 万円（R4）				13 億 9,031 万円
(2)新規出店数	5 件 (R2～4 累計)				8 件 (R6～9 累計)
(3)拠点施設の入込数	68,860 人 (R4)				70,000 人

第 5 期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
中心市街地の賑わい創出 ■ 南国市、南国市商工会 ・ 中心市街地の賑わいを創出する企画の策定、実行 ■ 南国市 ・ 中心市街地振興協議会における中心市街地振興計画の進捗管理 □ 県（地域本部等） ・ 計画の策定支援及び進捗等の情報共有、関係者への橋渡し	第 2 期中心市街地 振興計画の実行			
		次期計画 の策定		
			第 3 期中心市街地 振興計画の実行	
各種イベントの開催や空き店舗の活用等 ■ (株)海洋堂高知 ・ 施設の PR を兼ねた、ものづくりイベントの企画・実施 ■ 南国市、南国市商工会、地域事業者 ・ (株)海洋堂高知と連携した、ものづくりイベントの実施 ・ 軽トラ市、ごめん tete マルシェ等イベントと連携したものづくりサポートセンターから中心市街地への周遊を促す仕組みづくり ・ 新規出店者数増へ向けた、チャレンジショップの運営、チャレンジャー支援 ■ 南国市 ・ 地域おこし協力隊による取り組み支援 ・ 空き店舗活用の支援策の充実(中心市街地振興事業費補助金) □ 県（商工労働部、地域本部等） ・ 商店街等振興計画推進事業費補助金による支援 ・ 各種支援制度に関する情報提供、関係者への橋渡し	各種イベントの開催			
	チャレンジショップの運営 チャレンジャーへの支援			
	地域おこし協力隊による取り組み支援			
拠点施設の運営等 ■ (株)海洋堂高知 ・ フィギュアの生産、販売 ・ 集客につながるイベントの実施 ■ 南国市 ・ 拠点施設と連携した各種イベントの開催 ・ 来場者に中心市街地を周遊してもらう仕組みづくり ・ 南国市地域経済活性化計画の進捗管理 ■ 県（地域本部等） ・ 施設運営状況等の情報共有、セミナー等の紹介、関係者への橋渡し	施設の運営			

修正後

物部川地域アクションプラン		分野	商工業
AP 名 (実施地域)	No. 6 ものづくりサポートセンターを核とする中心市街地の活性化 (南国市)		
実施主体	◎南国市、◎南国市商工会、◎(株)海洋堂高知、南国市中心市街地振興協議会		
AP への位置づけ	H21.4 月		
事業概要	「ものづくり、ひとづくり、まちづくり」の拠点施設となる、ものづくりサポートセンターの整備を契機として、中心商店街がものづくりを志す人材が集うまちとなるよう、交流人口の拡大や商店街の活性化に資する取り組みを行う。		

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
中心市街地の賑わい創出	・「ごめんまち将来像プラン」の策定（H27） ・中心市街地振興計画の策定（R2）	【成果】 ・チャレンジショップオープン（R3.6～） ・チャレンジャー 累計5名 ・拠点施設の整備 R 元.8 月着工 ⇒ R2.12 月竣工 ⇒ R3.3.21 グランドオープン
各種イベントの開催や空き店舗の活用等	・(株)海洋堂と南国市による連携協定の締結（H28） ・(株)海洋堂と連携したジオラマ教室や「みんなのモノづくり展」、「ナンコクフェスティバル」等のイベントの開催（H28～） ・ものづくりイベント「ごめん tete マルシェ」の開催（R 元～） ・「ソフビ・アートフェスティバル in NANKOKU」の開催（R3） ・「ごめん tete マルシェ」と「ごめんの軽トラ市」の同時開催（R4.10～）	【課題】 ・日常的な賑わいを創出するために、地域住民と一体となった取り組みの実行 ・ものづくりサポートセンターへの集客と、周辺地域と連携した地域活性化の推進
拠点施設の運営等	・中心市街地活性化協議会による南国市地域経済活性化計画の策定（H30） ・ものづくりサポートセンターの整備（R 元～2） →地域経済活性化拠点施設整備等事業費補助金の活用 ・空き店舗調査（R2～）	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
(1)エリア内の売上高	10 億 9,061 万円（R4）	—			13 億 9,031 万円
(2)新規出店数	5 件 （R2～4 累計）				8 件 （R6～9 累計）
(3)拠点施設の入込数	68,860 人 （R4）				70,000 人

第 5 期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
中心市街地の賑わい創出 ■南国市、南国市商工会 ・中心市街地の賑わいを創出する企画の策定、実行 ・<u>第 3 期中心市街地振興計画の策定</u> ■南国市 ・中心市街地振興協議会における中心市街地振興計画の進捗管理 □県（地域本部等） ・計画の策定支援及び進捗等の情報共有、関係者への橋渡し	第 2 期中心市街地振興計画の実行	次期計画の策定		
各種イベントの開催や空き店舗の活用等 ■(株)海洋堂高知 ・施設の PR を兼ねた、ものづくりイベントの企画、実施 ■南国市、南国市商工会、地域事業者 ・(株)海洋堂高知と連携した、ものづくりイベントの実施 ・軽トラ市、ごめん tete マルシェ等イベントと連携したものづくりサポートセンターから中心市街地への周遊を促す仕組みづくり ■南国市 ・地域おこし協力隊による取り組み支援 ・空き店舗活用の支援策の充実(中心市街地振興事業費補助金) □県（商工労働部、地域本部等） ・商店街等振興計画推進事業費補助金による支援 ・各種支援制度に関する情報提供、関係者への橋渡し	各種イベントの開催	地域おこし協力隊による取り組み支援		
拠点施設の運営等 ■(株)海洋堂高知 ・フィギュアの生産、販売 ・集客につながるイベントの実施 ■南国市 ・拠点施設と連携した各種イベントの開催 ・<u>やなせ先生やドラマ関連の企画展やイベントの開催</u> ・<u>デジタル観光ガイドを活用した周遊企画</u> ・南国市地域経済活性化計画の進捗管理 ■県（地域本部等） ・施設運営状況等の情報共有、セミナー等の紹介、関係者への橋渡し	施設の運営	企画展やイベントの開催		

物部川地域アクションプラン

	分野	商工業
AP 名 (実施地域)	No.9 土佐山田えびす商店街を中心とする地域の活性化 (香美市)	
実施主体	◎えびす街協同組合、香美市商工会、香美市	
AP への位置づけ	H26.9月	
事業概要	香美市の中心商店街である土佐山田えびす商店街の情報交流拠点施設「ふらっと中町」の情報発信力を強化し、商店街内の空き店舗の活用等により、移住者による新規創業も含めた新たな店舗の開業を支援するとともに、商店街を含む地域の活性化を図る。	

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
商店街を含む地域の活性化策の推進	・ふらっと中町及び商店街等の振興 香美市中心商店街活性化計画の策定（策定：R2、改訂：R4） 香美市中心商店街活性化計画アクションプランの推進 商店街、ふらっと中町の集客に向けた各種イベントの開催 香美市中心商店街活性化協議会の開催（R4：1回） ・空き店舗及びチャレンジショップ(ふらっと中町内)を活用した開業支援 地域づくり支援員による商店街内の空き店舗の実態調査の実施（H27～） チャレンジショップ運営委員会の開催（H28～毎月）	【成果】 ・空き店舗を活用した新規開業数 9件（R2～5 累計） ・「えびす昭和横丁」の開催 2回実施（R4～5） ・「ふらっと中町」マルシェの開催 5回実施（R4～5） ・「ふらっと中町」年間集客数 R4:4,889人 (R元:3,649人) ・チャレンジショップ出店 9件（R2～5 累計） 内商店街エリアでの開業 2件 【課題】 ・商店街の空き店舗の活用促進及びチャレンジショップ卒業生の域内への出店を目指した利用可能な空き店舗の確保 ・ふらっと中町、チャレンジショップへの誘客

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
(1) 新規開業数	—				8件 (R6～9 累計)
(2) 店舗数	118店 (R5)				118店

第5期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
空き店舗調査の実施 ■香美市 ・地域づくり支援員による空き店舗調査の実施 ・開業希望やチャレンジショップ活用に関する問い合わせへの対応 ■香美市商工会 ・空き店舗の情報収集	空き店舗調査			
「ふらっと中町」チャレンジショップの運営 ■えびす街協同組合 ・チャレンジショップを活用したチャレンジャーの開業支援 ・集客力のあるイベント開催によるPR ・SNS等による情報発信 ■香美市商工会 ・チャレンジショップへの運営補助による支援 ・運営に関するアドバイス ■香美市、〇県（商工労働部、地域本部等） ・チャレンジショップ運営委員会への出席 ・商店街等振興計画推進事業費補助金による支援	チャレンジショップ運営支援			
空き店舗を活用した新規開業支援 ■香美市 ・空き店舗等利活用助成金による支援 ■香美市商工会 ・開業時のアドバイスの実施	新規開業支援			
中心商店街活性化計画の推進 ■香美市、香美市商工会 ・地域事業者と連携した香美市中心商店街活性化計画アクションプランの推進 ■地域事業者 ・市や商工会と連携した香美市中心商店街活性化計画アクションプランの推進 〇県（商工労働部、地域本部等） ・関係機関との橋渡し、情報提供、伴走支援	香美市中心商店街活性化計画アクションプランの推進	次期計画の策定	第2期香美市中心商店街活性化計画アクションプランの推進	

物部川地域アクションプラン

物部川地域アクションプラン		分野	商工業
AP 名 (実施地域)	No.9 土佐山田えびす商店街を中心とする地域の活性化 (香美市)		
実施主体	◎えびす街協同組合、香美市商工会、香美市		
AP への位置づけ	H26.9月		
事業概要	香美市の中心商店街である土佐山田えびす商店街の情報交流拠点施設「ふらっと中町」の情報発信力を強化し、商店街内の空き店舗の活用等により、移住者による新規創業も含めた新たな店舗の開業を支援するとともに、商店街を含む地域の活性化を図る。		

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
商店街を含む地域の活性化策の推進	・ふらっと中町及び商店街等の振興 香美市中心商店街活性化計画の策定（策定：R2、改訂：R4） 香美市中心商店街活性化計画アクションプランの推進 商店街、ふらっと中町の集客に向けた各種イベントの開催 香美市中心商店街活性化協議会の開催（R4：1回） ・空き店舗及びチャレンジショップ（ふらっと中町内）を活用した開業支援 <u>ふらっと中町職員</u>による商店街内の空き店舗の実態調査の実施（H27～） チャレンジショップ運営委員会の開催（H28～毎月）	【成果】 ・空き店舗を活用した新規開業数 9件（R2～5累計） ・「えびす昭和横丁」の開催 3回実施（R4～6） ・「ふらっと中町」マルシェの開催 5回実施（R4～5） ・「ふらっと中町」年間集客数 R5:4,735人 (R元:3,649人) ・チャレンジショップ出店 11件（R2～6累計） - 内商店街エリアでの開業2件 【課題】 ・商店街の空き店舗の活用促進及びチャレンジショップ卒業生の域内への出店を目指した利用可能な空き店舗の確保 ・ふらっと中町、チャレンジショップへの誘客

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
(1) 新規開業数	—				8 件 (R6～9 累計)
(2) 店舗数	118 店 (R5)				118 店

第 5 期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
空き店舗を活用した新規開業支援 ■ 香美市 ・ <u>ふらっと中町職員</u> による空き店舗調査の実施 ・開業希望やチャレンジショップ活用に関する問い合わせへの対応 ・ <u>空き店舗等利活用助成金による支援</u> ■ 香美市商工会 ・空き店舗の情報収集 ・開業時のアドバイスの実施 「ふらっと中町」チャレンジショップの運営 ■ えびす街協同組合 ・チャレンジショップを活用したチャレンジャーの開業支援 ・集客力のあるイベント開催による PR ・SNS 等による情報発信 ■ 香美市商工会 ・チャレンジショップへの運営補助による支援 ・運営に関するアドバイス ■ 香美市、□県（商工労働部、地域本部等） ・チャレンジショップ運営委員会への出席 ・商店街等振興計画推進事業費補助金による支援				
	新規開業支援			
	チャレンジショップ運営支援			
中心商店街活性化計画の推進 ■ 香美市、香美市商工会 ・地域事業者と連携した香美市中心商店街活性化計画アクションプランの推進 ■ 地域事業者 ・市や商工会と連携した香美市中心商店街活性化計画アクションプランの推進 □ 県（商工労働部、地域本部等） ・関係機関との橋渡し、情報提供、伴走支援	香美市中心商店街 活性化計画アクション プランの推進			
	次期計画 の策定	第 2 期香美市中心商店街 活性化計画アクションプラン の推進		

修正前

物部川地域アクションプラン		分野	商工業
AP 名 (実施地域)	No.10 香美市における地域食材を活用したクラフトビールの製造・販売 (香美市)		
実施主体	◎(同)高知カンパニーブルワリー、香美市商工会、香美市		
AP への位置づけ	H30.9 月		
事業概要	高知県産の食材を活用したクラフトビールを開発し、生産拡大を行うとともに、イベントの開催等による自社 TAP STAND への誘客促進を図る。更に、商工会等の関係機関と連携し、地元商店街のにぎわい創出を図る。		

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
生産体制の強化	・新商品開発に係る情報発信、機械設備の導入等（H30） → 産振補助金の活用 ・生産体制及び機械設備の導入に関する助言（H30） → 産振アドバイザー制度の活用 ・生産拡大及び品質管理に係る機械設備の導入（R 元） → 小規模事業者持続化補助金の活用 ・TAP STAND を併設した本格ビール工場の整備（R3～4） → 事業再構築補助金の活用（R5.4.15 オープン） ・機械設備の導入（R3～4） → ものづくり補助金の活用 ・TAP STAND 及び TOSACO GARDEN の整備（R4） → クラウドファンディング（CAMPFIRE）の活用 ・機械設備の導入（R5） → 小規模事業者持続化補助金の活用 ・TOSACO GARDEN の屋外設備の設置（R5） → 香美市特産品事業費補助金の活用	【成果】 ・雇用の創出 H30：1 人 →R4：6 人 ・新商品の開発 H30～R4：13 件 ・品評会等への出展 H30～R4：8 回 ・香美市内の飲食店・量販店での販売 R5：8 店舗 【課題】 ・生産拡大に向けての機械設備の導入
認知度向上・販路拡大	・アンテナショップ「まるごと高知」での販売（H30～） ・香美市ふるさと納税返礼品に登録（H30～） ・PR 動画の作成（R2） → 伴走型小規模事業者支援推進事業の活用 ・季節限定商品、地域限定商品の開発（H30～） ・フェアやイベントへの出店（H30～） ・香美市内の飲食店等での販売（H30～） ・香美市内の量販店での販売（H30～） ・地元イベントへの参加等（H30～）	・販路拡大 ・TAP STAND 及び TOSACO GARDEN への誘客
【用語】 ・クラフトビール：一回の仕込み量が少量で、地域の特産品を原料にして作る個性あふれるビール		

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
クラフトビールの売上高	4,207 万円 (R4)				9,000 万円

第 5 期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
生産拡大に向けた機械設備の導入 ■(同)高知カンパニーブルワリー ・機械設備の導入の検討・着手 ■香美市商工会 ・設備導入に関する助言 □県（地域本部等） ・補助金情報等の支援策に係る情報提供 雇用の創出 ■(同)高知カンパニーブルワリー ・ハローワーク等を活用した労働力の確保・育成 □県（地域本部等） ・活用可能な支援策の情報提供				
認知度向上・販路拡大 ■(同)高知カンパニーブルワリー ・商品コンセプトの合致したイベント、商談会等への積極的な出展 ・地元イベント（香美バル、刃物まつり等）への出店 ・自社イベントの実施 ■香美市商工会 ・イベント、販路開拓に向けた情報提供 ■香美市 ・ふるさと納税返礼品への登録 新商品の開発・販売 ■(同)高知カンパニーブルワリー ・県産食材を活用した地域限定商品等の開発 □県（地域本部等） ・県産食材に係る情報提供、関係機関への橋渡し	 			

物部川地域アクションプラン		分野	商工業
AP 名 (実施地域)	No.10 香美市における地域食材を活用したクラフトビールの製造・販売 (香美市)		
実施主体	◎(同)高知カンパニーブルワリー、香美市商工会、香美市		
AP への位置づけ	H30.9 月		
事業概要	高知県産の食材を活用したクラフトビールを開発し、生産拡大を行うとともに、イベントの開催等による自社 TAP STAND への誘客促進を図る。更に、商工会等の関係機関と連携し、地元商店街のにぎわい創出を図る。		

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
生産体制の強化	・新商品開発に係る情報発信、機械設備の導入等（H30） → 産振補助金（<u>ステップアップ</u>）の活用 ・生産体制及び機械設備の導入に関する助言（H30） → 産振アドバイザー制度の活用 ・生産拡大及び品質管理に係る機械設備の導入（R 元） → 小規模事業者持続化補助金の活用 ・TAP STAND を併設した本格ビール工場の整備（R3～4） → 事業再構築補助金の活用（R5.4.15 オープン） ・機械設備の導入（R3～4） → ものづくり補助金の活用 ・TAP STAND 及び TOSACO GARDEN の整備（R4） → クラウドファンディング（CAMPFIRE）の活用 ・機械設備の導入（R5） → 小規模事業者持続化補助金の活用 ・TOSACO GARDEN の屋外設備の設置（R5） → 香美市特産品事業費補助金の活用	【成果】 ・雇用の創出 H30：1 人 → R6.12 月時点：21 人 ・新商品の開発 H30～R5：20 件 ・品評会等への出展 H30～R5：8 回 ・香美市内の飲食店・量販店での販売 R5：8 店舗 【課題】 ・生産拡大に向けての機械設備の導入
認知度向上・販路拡大	・アンテナショップ「まるごと高知」での販売（H30～） ・香美市ふるさと納税返礼品に登録（H30～） ・PR 動画の作成（R2） → 伴走型小規模事業者支援推進事業の活用 ・季節限定商品、地域限定商品の開発（H30～） ・フェアやイベントへの出店（H30～） ・香美市内の飲食店等での販売（H30～） ・香美市内の量販店での販売（H30～） ・地元イベントへの参加等（H30～）	・販路拡大 ・TAP STAND 及び TOSACO GARDEN への誘客
【用語】 ・クラフトビール：一回の仕込み量が少量で、地域の特産品を原料にして作る個性あふれるビール		

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
クラフトビールの売上高	4,207 万円 (R4)				9,000 万円

第 5 期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
生産拡大に向けた機械設備の導入及び第 2 工場の整備 ■(同)高知カンパニーブルワリー ・ <u>機械設備の導入</u> ・ <u>第 2 工場の整備</u> ■香美市商工会 ・設備導入に関する助言 □県（地域本部等） ・補助金情報等の支援策に係る情報提供		導入等の検討 設備導入 工場整備		
雇用の創出 ■(同)高知カンパニーブルワリー ・ハローワーク等を活用した労働力の確保・育成 □県（地域本部等） ・活用可能な支援策の情報提供	雇用の創出・人材育成			
認知度向上・販路拡大 ■(同)高知カンパニーブルワリー ・商品コンセプトの合致したイベント、商談会等への積極的な出展 ・地元イベント（香美バル、刃物まつり等）への出店 ・自社イベントの実施 ■香美市商工会 ・イベント、販路開拓に向けた情報提供 ■香美市 ・ふるさと納税返礼品への登録	イベント、商談会への出展 自社イベントの実施			
新商品の開発・販売 ■(同)高知カンパニーブルワリー ・県産食材を活用した地域限定商品等の開発 □県（地域本部等） ・県産食材に係る情報提供、関係機関への橋渡し	新商品の開発・販売			

物部川地域アクションプラン

	分野	観光
AP 名 (実施地域)	No.11 物部川地域における広域観光の推進 (物部川地域全域)	
実施主体	◎(一社)物部川 DMO 協議会、南国市、香南市、香美市、(一社)南国市観光協会、(一社)香南市観光協会、(一社)香美市観光協会、(株)ものべみらい、観光事業者	
AP への位置づけ	H24.4月	
事業概要	物部川地域の自然、観光施設、体験メニュー等の多様な観光資源を広域的に組み合わせ、魅力的な観光商品とするとともに、民間事業者の視点も踏まえて地域の観光資源を一層磨き上げ、情報発信を行うことにより、観光客の広域的な誘致を推進し、交流人口の拡大を図る。	

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化	・「物部川 DMO 協議会」が発足（H28） ・物部川 DMO 協議会の一般社団法人化（H31.3月） ⇒第3種旅行業登録（R元） ・滞在型観光プラン整備計画の策定（R2） ・観光地域づくり推進員の配置（R3～） ・中期計画の作成（R3） ・エリア内観光関係施設でのアンケート調査 ・登録 DMO への登録（R4.3月）	【成果】 ・エリアコンセプト、ターゲット明確化 ・地域周遊企画の実施、滞在型観光の推進 ・入込数や消費額の増加 ・ユニバーサルツーリズムの推進 【課題】 ・物部川地域3市の行政機関、関係機関が役割分担し協働することによる持続的広域観光推進のための地域体制強化 ・周遊促進のための旅行商品の造成・販売（旅行業の活用） ・物部川エリアのブランド化
観光商品の充実・観光客の広域誘致	・協議会公式 HP 及び SNS の構築（H28）、HP リニューアル（R4） ・公式パンフレットの作成（H29）、リニューアル（R5） ・顧客ニーズに沿った商品の企画造成・販売実施（H30～） ・商談会等で旅行会社へセールス（H29:4回、H30:17回、R元：10回、R2：21回、R3：9回、R4：22回） ・誘客多角化事業の採択によるバリアフリー観光の推進（R2） ・バリアフリー観光の推進（R4） →地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業の活用 ・ワーケーション推進事業の採択（R4） ・インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業の採択（R5） ・JR 観光列車おもてなし（R3,4,5）	
地域連携による周遊促進	・連携企画イベントの開催（H28:「おさかなクリスマス in 高知ものべがわ」、H29～（年1回）「ものべがわフェスタ」） ・ものべ SSS 認証制度の制定（R2～） R2：14団体、R3：13団体 計：27団体 「ものべお仕事体験博」の開催（R4：2回、R5：6回） ・ものべ旅クーポンの実施（R5）	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
主要観光施設入込数（8施設）※	73.7万人（R4）				89.5万人

※1月～12月

※主要観光施設：

西島園芸団地、県立歴史民俗資料館、南国市ものづくりサポートセンター（海洋堂スペースファクトリーなんこく）、県立のいち動物公園、絵金蔵、創造広場「アクトランド」、アンパンマンミュージアム、龍河洞

第5期計画における行程表					
事業概要	R6	R7	R8	R9	
広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化 ■物部川 DMO 協議会 ・物部川広域観光振興中期計画（R7～9）の策定・実行 □県 ・アドバイザー派遣等による支援	計画策定	計画の実行			
観光商品の充実・観光客の広域誘致 ■物部川 DMO 協議会 ・物部川地域における観光資源の掘り起こし、磨き上げ ・セールスの実施、商談会への出展 ・パンフレット、SNS 等を活用したエリアの情報発信 ・ユニバーサルツーリズムの推進 ・ワーケーション事業の推進 ・教育旅行の誘致、大阪万博に向けたインバウンド誘客、大阪アンテナショップ開業による誘客 ・マーケティング調査の分析、ターゲット層に即した戦略の策定 □県 ・どっぶり高知旅キャンペーンを通じた商品造成の支援 ・観光客動向データの活用支援		県キャンペーンと連動した観光商品の造成・販売			
		セールスの実施やエリア内の情報発信			
		デジタルデータ等を活用した分析・戦略策定			
地域連携による周遊促進 ■物部川 DMO 協議会 ・「ものべお仕事体験博」や「ものべがわフェスタ」など地域連携企画の実施 ・NHK 連続テレビ小説「あんぱん」を生かした地域博覧会の開催 □県 ・補助金やアドバイザー派遣等による支援	地域連携企画の実施				
	施策の準備	施策の実施	誘客・周遊施策等の継続		

物部川地域アクションプラン		分野	観光
AP 名 (実施地域)	No.11 物部川地域における広域観光の推進 (物部川地域全域)		
実施主体	◎(一社)物部川 DMO 協議会、南国市、香南市、香美市、(一社)南国市観光協会、(一社)香南市観光協会、(一社)香美市観光協会、(株)ものべみらい、観光事業者		
AP への位置づけ	H24.4月		
事業概要	物部川地域の自然、観光施設、体験メニュー等の多様な観光資源を広域的に組み合わせ、魅力的な観光商品とするとともに、民間事業者の視点も踏まえて地域の観光資源を一層磨き上げ、情報発信を行うことにより、観光客の広域的な誘致を推進し、交流人口の拡大を図る。		

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化	・「物部川 DMO 協議会」が発足 (H28) ・物部川 DMO 協議会の一般社団法人化 (H31.3月) →第3種旅行業登録 (R元) ・滞在型観光プラン整備計画の策定 (R2) ・観光地域づくり推進員の配置 (R3～) ・中期計画の作成 (R3) ・エリア内観光関係施設でのアンケート調査 ・登録 DMO への登録 (R4.3月)	【成果】 ・商談会への参加・セールス実施数：17回(R7.1月時点) ・「ものべおしごと体験博」参加者数：158名 (R6.12月時点) ・ユニバーサルツーリズムの推進：四国運輸局の優良事業者表彰を受賞 (R6) 【課題】 ・観光博覧会「ものべすと」の開幕に向けた受入れ・広報事業の準備の加速化とエリア内の機運醸成の取り組み強化 ・観光博覧会に向けてエリア内関係者との連携強化 ・観光博覧会を通した「物部川ブランド」の確立
観光商品の充実・観光客の広域誘致	・協議会公式 HP 及び SNS の構築 (H28)、HPリニューアル (R4) ・公式パンフレットの作成 (H29)、リニューアル (R5) ・顧客ニーズに沿った商品の企画造成・販売実施 (H30～) ・商談会等で旅行会社へセールス ・誘客多角化事業の採択によるバリアフリー観光の推進 (R2) ・バリアフリー観光の推進 (R4) →地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業の活用 ・ワーケーション推進事業の採択 (R4) ・インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業の採択 (R5) ・JR 観光列車おもてなし (R3～)	
地域連携による周遊促進	・連携企画イベントの開催 (H28：「おさかなクリスマス in 高知ものべがわ」、H29～：「ものべがわフェスタ」) ・ものべ SSS 認証制度の制定 (R2～) R2：14団体、R3：13団体 計：27団体 ・「ものべおしごと体験博」の開催 (R4：2回、R5：7回) ・ものべ旅クーポンの実施 (R5)	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
主要観光施設入込数 (8施設) ※	73.7 万人 (R4)	78.9 万人			89.5 万人

※ 1月～12月
※主要観光施設：
西島園芸団地、県立歴史民俗資料館、南国市ものづくりサポートセンター（海洋堂スペースファクトリーなんこく）、県立のいち動物公園、絵金蔵、創造広場「アクトランド」、アンパンマンミュージアム、龍河洞

第5期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化 ■物部川 DMO 協議会 ・ <u>エリア内関係者と一体となった博覧会事業の実施</u> ・物部川広域観光振興中期計画 (R7～9) の策定・実行 □県 ・アドバイザー派遣等による支援	委員会設立・運営	観光博覧会の開催	観光博覧会後の連携した取り組み	
	計画策定	計画の実行		
観光商品の充実・観光客の広域誘致 ■物部川 DMO 協議会 ・物部川地域における観光資源の掘り起こし、磨き上げ ・セールスの実施、商談会への出展 ・パンフレット、SNS 等を活用したエリアの情報発信 ・ユニバーサルツーリズムの推進 ・ワーケーション事業の推進 ・教育旅行の誘致、大阪万博に向けたインバウンド誘客、大阪アンテナショップ開業による誘客 ・マーケティング調査の分析、ターゲット層に即した戦略の策定 □県 ・どっぶり高知旅キャンペーンを通じた商品造成の支援 ・観光客動向データの活用支援		県キャンペーンと連動した観光商品の造成・販売		
		セールスの実施やエリア内の情報発信		
		デジタルデータ等を活用した分析・戦略策定		
地域連携による周遊促進 ■物部川 DMO 協議会 ・ <u>観光博覧会「ものべすと」の開催によるエリア内への誘客促進や周遊企画の実施</u> ・「ものべおしごと体験博」等の地域連携企画の実施 □県 ・補助金やアドバイザー派遣等による支援	地域連携企画の実施			
	観光博覧会の準備	観光博覧会の開催	誘客・周遊施策等の継続	

修正前

物部川地域アクションプラン

	分野	観光
AP 名 (実施地域)	No.12 南国市の地域資源を活用した観光の推進 (南国市)	
実施主体	◎(一社)南国市観光協会、南国市、南国市観光クラスター連絡協議会、市内各観光に関わる企業・団体・グループ	
AP への位置づけ	H21.4月	
事業概要	地域が誇る史跡資源(長宗我部等)を活用したイベント・ツアーへの参加をきっかけとして、周辺の観光名所・施設への来訪など市内観光を推進するとともに、ものづくりサポートセンターを核とした県外からの誘客促進に繋げる。	

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
観光の推進	・長宗我部元親ラリーの実施（H22～R4） ・長宗我部フェスの開催（H22～） ・岡豊山さくらまつり・土佐の食1グランプリの開催（H22～31） ・ボランティアガイドの養成（H28） →歴史観光資源等強化事業費補助金の活用 ・移動販売車(キッチンカー)の導入による南国市観光のPR（H29） ・女性をメインターゲットにした周遊マップの作成（H29） →歴史観光資源等強化事業費補助金の活用 ・観光施設連絡会の設立（R2） ・観光ガイドの養成（R3） →地域の頑張る人づくり補助金の活用 ・なんこく旅たびクーポンによる誘客促進（R3） ・土佐の観光創成塾の受講 オンラインによる体験プランの販売開始（R3～） ・四万十町連動周遊企画（R3～） ・なんこく乗りのりシャトル運行事業（R3～4）	【成果】 ・主要観光施設入込数のうち、歴史文化施設（県立歴史民俗資料館）入館者数 H30：2.5万人 →R5：2.7万人（10月末時点） 【課題】 ・観光資源及び長宗我部元親ラリー、長宗我部フェスなどの既存の取り組み（イベント）の魅力向上 ・観光協会の体制強化
観光協会の体制強化	・南国市観光協会に専任スタッフを配置（H24～）	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
主要観光施設入込数 (4施設)※	48.4万人 (R4)				55.0万人

※1月～12月
※主要観光施設：
西島園芸団地、道の駅南国風良里、県立歴史民俗資料館、南国市ものづくりサポートセンター（海洋堂スペースファクトリーなんこく）

第5期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
観光メニューづくり、ブラッシュアップ ■(一社)南国市観光協会、南国市、市内各観光に関わる企業・団体等 ・既存の観光メニュー、イベントのブラッシュアップや、新たなメニューづくり、周遊ルートを提案・実施 □県（地域本部等） ・関係機関等への橋渡し				
情報発信、プロモーション ■(一社)南国市観光協会 ・観光パンフレットの発刊、SNS等での情報提供、旅行雑誌等への売込みの実施 ■事業者 ・移動販売車（キッチンカー）を用いた、観光・特産品のPR				
観光協会の体制強化 ■(一社)南国市観光協会 ・会員増に向けた新規会員の掘り起こし ・SNS・パンフレット等による会員の店舗やイベント等のPRの実施				

修正後

物部川地域アクションプラン		分野	観光
AP 名 (実施地域)	No.12 南国市の地域資源を活用した観光の推進 (南国市)		
実施主体	◎(一社)南国市観光協会、南国市、南国市観光クラスター連絡協議会、市内各観光に関わる企業・団体・グループ		
AP への位置づけ	H21.4月		
事業概要	地域が誇る史跡資源(長宗我部等)を活用したイベント・ツアーへの参加をきっかけとして、周辺の観光名所・施設への来訪など市内観光を推進するとともに、ものづくりサポートセンターを核とした県外からの誘客促進に繋げる。		

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
観光の推進	・長宗我部フェスの開催（H22～） ・ボランティアガイドの養成（H28） →歴史観光資源等強化事業費補助金の活用 ・移動販売車(キッチンカー)の導入による南国市観光の PR（H29） ・女性をメインターゲットにした周遊マップの作成（H29） →歴史観光資源等強化事業費補助金の活用 ・観光施設連絡会の設立（R2） ・観光ガイドの養成（R3） →地域の頑張る人づくり補助金の活用 ・なんこく旅たびクーポンによる誘客促進（R3） ・土佐の観光創成塾の受講 オンラインによる体験プランの販売開始（R3～） ・四万十町連動周遊企画（R3～） ・なんこく乗りのりシャトル運行事業（R3～4） ・ガイド養成講座の実施（R6）	【成果】 ・主要観光施設入込数のうち、歴史文化施設（県立歴史民俗資料館）入館者数 H30：2.5 万人 →R6：1.6 万人（R5.9.19～R6.3.28 まで改修工事のため休館） 【課題】 ・観光資源及び長宗我部元親ラリー、長宗我部フェスなどの既存の取り組み（イベント）の魅力向上 ・観光協会の体制強化
観光協会の体制強化	・南国市観光協会に専任スタッフを配置（H24～） ・臨時観光案内所専任スタッフの配置（R6.9～R8.2） ・拠点施設の整備や受入対策等、観光博覧会開催に向けた準備を実施（R6）	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
主要観光施設入込数 （4 施設）※	48.4 万人 （R4）	51.8 万人			55.0 万人

※1月～12月

※主要観光施設：

西島園芸団地、道の駅南国風良里、県立歴史民俗資料館、南国市ものづくりサポートセンター（海洋堂スペースファクトリーなんこく）

第5期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
観光メニューづくり、ブラッシュアップ ■(一社)南国市観光協会、南国市、市内各観光に関わる企業・団体等 ・既存の観光メニュー、イベントのブラッシュアップや、新たなメニューづくり、周遊ルートを提案・実施 ・ごめん町定時ガイドの実施 □県（地域本部等） ・関係機関等への橋渡し 情報発信、プロモーション ■(一社)南国市観光協会 ・観光パンフレットの発刊、SNS 等での情報提供、旅行雑誌等への売込 ・「周遊促進・滞在延長支援事業費補助金」を活用した観光 PR 動画の作成 ■事業者 ・移動販売車（キッチンカー）を用いた、観光・特産品の PR				
観光協会の体制強化 ■(一社)南国市観光協会 ・臨時観光案内所の運営体制の確保 (実施事業：観光案内・ガイド受付・特産品販売・キッチンカー等出店運営・レンタサイクル・お遍路衣装レンタル・手荷物預かり) ・会員増に向けた新規会員の掘り起こし ・SNS・パンフレット等による会員の店舗やイベント等の PR の実施		臨時観光案内所の運営体制の確保		
			会員増に向けた取り組み 会員への支援	
観光博覧会の開催 ・連続テレビ小説「あんぱん」の放送を契機とした「やなせたかしが育ったまち南国市」の PR ・やなせ先生やドラマ関連の企画展やイベントの開催 ・臨時観光案内所の運営 ・デジタル観光ガイドシステム（音声ガイドアプリ）の運用 ・デジタル観光ガイドシステムを活用した周遊企画 ・まち歩きマップの配布			観光博覧会の開催	

修正前

物部川地域アクションプラン

		分野	観光
AP 名 (実施地域)	No.13 南国市の観光農園を活用した体験型・滞在型観光の推進 (南国市)		
実施主体	◎(株)西島園芸団地、南国市、(一社)南国市観光協会、(一社)物部川 DMO 協議会、南国市観光施設連絡会		
AP への位置づけ	R3.4 月		
事業概要	南国市観光の中核である観光農園を時代の変化、顧客ニーズに対応したリブランディングにより磨き上げ、魅力的な観光施設として広域的な観光客の誘致を推進するとともに、生産された青果の外商の拡大を図る。		

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
観光客誘致促進	・全体コンセプトの構成とリブランディング →産振アドバイザー制度の活用 短期・中期事業計画の策定(R2～4) ブランディング戦略の検討(R2～) 事業構想策定(R4) ・南国市、(一社)南国市観光協会、(一社)物部川 DMO 協議会及び周辺観光施設、宿泊施設等と連携した情報発信、旅行代理店へのセールス等、各種イベントの開催	【成果】 ・観光客入込数 R2：64,789 人 →R4：120,023 人 ・売上高 R2：3 億 994 万円 →R5：3 億 7,844 万円 ・ブランドロゴ「Nishijima」、商品パッケージ新(R3) ホームページ改良(R2) ・店舗レイアウト、内装変更(R4～5) ・新商品 スイカパン販売(R3.7) カフェメニュー(R4.1～) フルーツ券拡充(R4.5～) プリスパフェ販売(R4.6) 【課題】 ・観光客入込数及び店舗売上高の増に向けた誘客の継続実施 ・外販の推進 ・老朽化施設・設備の計画的な更新
売上増に向けた取り組み	・全体コンセプトの構成とリブランディング →産振アドバイザー制度等の活用 短期・中期事業計画の策定(R2～4)<再掲> ブランディング戦略の検討(R2～)<再掲> 事業構想策定(R4)<再掲> 店内レイアウトの見直し 新商品開発(R2～3) →6 次産業化セミナー実践コース受講による新たなカフェメニュー開発(R4) ・通販や百貨店等への販売強化  ブランド強化 消費者への浸透	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
(1)観光客入込数 ※	120,023 人 (R4)				156,000 人
(2)売上高 ※	3 億 7,844 万円 (R5)				4 億 2,400 万円

※(1)1 月～12 月、(2)8 月～7 月

第 5 期計画における行程表					
事業概要		R6	R7	R8	R9
観光客誘致促進 ■(株)西島園芸団地 ・南国市、南国市観光協会、物部川 DMO 協議会及び周辺観光施設、宿泊施設等と連携した観光客誘致の取り組み WEB 等を活用した情報発信、旅行代理店へのセールス等 いちご狩りやイベントの開催 ・魅力ある店舗づくり レイアウトや内装の随時見直し □南国市、県(地域本部等) ・各種支援制度の情報提供、関係機関への橋渡し					
売上増に向けた取り組み ■(株)西島園芸団地 ・観光客増による店舗販売の推進 フルーツ券商品の販売推進、カフェメニューの見直し ・通販の推進及び大手百貨店等への厳選した商品の売り込み・販売 □南国市、県(地域本部等) ・各種支援制度の情報提供、関係機関への橋渡し					
高品質な青果物の安定供給に向けた栽培の取り組み ■(株)西島園芸団地 ・ブランドの基礎となる商品の高品質化、安定供給に向けた栽培の不断の取り組み ・生產品種の随時見直し □南国市、県(中央東農業振興センター等) ・栽培技術等の向上支援					
老朽化施設・設備の計画的更新 ■(株)西島園芸団地 ・栽培ハウス加温設備などの計画更新 □南国市、県(地域本部等) ・各種支援制度の情報提供					

修正後

物部川地域アクションプラン

分野	観光
----	----

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
観光客誘致促進	・全体コンセプトの構成とリブランディング →産振アドバイザー制度の活用 - 短期・中期事業計画の策定(R2～4) - ブランディング戦略の検討(R2～) - 事業構想策定(R4) ・南国市、(一社)南国市観光協会、(一社)物部川 DMO 協議会及び周辺観光施設、宿泊施設等と連携した情報発信、旅行代理店へのセールス等、各種イベントの開催	[成果] ・観光客入込数 - R2：64,789 人 →R6：<u>145,141</u> 人 ・売上高 - R2：3 億 994 万円 →R6：3 億 <u>9,478</u> 万円 ・ブランドロゴ「Nishijima」、商品パッケージ新(R3) ・ホームページ改良(R2)
売上増に向けた取り組み	・全体コンセプトの構成とリブランディング →産振アドバイザー制度等の活用 - 短期・中期事業計画の策定(R2～4)<再掲> - ブランディング戦略の検討(R2～)<再掲> - 事業構想策定(R4)<再掲> - 店内レイアウトの見直し - 新商品開発(R2～3) →6 次産業化セミナー実践コース受講による新たなカフェメニュー開発(R4) ・通販や百貨店等への販売強化  ブランド強化 消費者への浸透	・店舗レイアウト、内装変更(R4～5) ・新商品 - スイカパン販売(R3.7) - カフェメニュー(R4.1～) - フルーツ券拡充(R4.5～) - プリスパフェ販売(R4.6) [課題] ・観光客入込数及び店舗売上高の増に向けた誘客の継続実施 ・外販の推進 ・老朽化施設・設備の計画的な更新

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
(1)観光客入込数 ※	120,023 人 (R4)	<u>145,141 人</u>			156,000 人
(2)売上高 ※	3 億 7,844 万円 (R5)	<u>3 億 9,478 万円</u>			4 億 2,400 万円

※(1)1月～12月、(2)8月～7月

第5期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
観光客誘致促進 ■(株)西島園芸団地 ・南国市、南国市観光協会、物部川 DMO 協議会及び周辺観光施設、宿泊施設等と連携した観光客誘致の取り組み WEB 等を活用した情報発信、旅行代理店へのセールス等 いちご狩りやイベントの開催 ・魅力ある店舗づくり レアウトや内装の随時見直し □南国市、県(地域本部等) ・各種支援制度の情報提供、関係機関への橋渡し				
	観光客誘致の取り組み 魅力ある店舗づくり			
売上増に向けた取り組み ■(株)西島園芸団地 ・観光客増による店舗販売の推進 フルーツ券商品の販売推進、カフェメニューの見直し ・地域博覧会を活用した集客の実施 ・通販の推進及び大手百貨店等への厳選した商品の売り込み・販売 □南国市、県(地域本部等) ・各種支援制度の情報提供、関係機関への橋渡し				
	店舗販売の推進 外販の推進			
		地域博覧会を活用した集客		
高品質な青果物の安定供給に向けた栽培の取り組み ■(株)西島園芸団地 ・ブランドの基礎となる商品の高品質化、安定供給に向けた栽培の不断の取り組み ・生産品種の随時見直し □南国市、県(中央東農業振興センター等) ・栽培技術等の向上支援				
	高品質な商品の安定供給			
老朽化施設・設備の計画的更新 ■(株)西島園芸団地 ・栽培ハウス加温設備などの計画更新 □南国市、県(地域本部等) ・各種支援制度の情報提供				
	計画的な施設・設備の更新			

修正前

物部川地域アクションプラン		分野	観光
AP 名 (実施地域)	No.14 香南市におけるスポーツ・体験観光等の取り組みの推進 (香南市)		
実施主体	◎(一社)香南市観光協会、香南市、地域の体験メニュー等提供団体		
AP への位置づけ	H21.4 月		
事業概要	香南市の自然や文化、歴史などの地域観光資源を活用したスポーツ・体験観光を推進するとともに、様々な観光スポット等と連携した周遊プランの造成・情報発信を行うことにより、地域外からの交流人口の拡大を図る。		

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
主要観光施設入込数 (10 施設) ※	102.3 万人 (R4)				111.8 万人

※1 月～12 月
※主要観光施設：
県立のいち動物公園、月見山こどもの森、ヤ・シイパーク、絵金蔵、天然色市場、やすらぎ市、あぐりのさと、黒潮温泉、創造広場「アクトランド」、土佐カントリークラブ

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
旅行商品の造成と販売	・(一社)香南市観光協会による旅行商品化に必要な香南市内の観光情報の一元把握 (H21～) ・旅行商品の企画から販売までの体制の整備 ・香南市観光協会の一般社団法人化及び旅行業第 3 種の登録 (H22)	【成果】 ・主要観光施設入込数 R4：102.3 万人 ・サイクリングイベントへの参加者数 R4：204 人
スポーツ・体験観光の推進	・レンタサイクル事業の強化、サイクルイベント等の実施 (H30～) ・ヤ・シイパーク西側自転車道の開通 (R2) ・物部川右岸河川敷自歩道の整備 (R2) ・香南市自転車活用推進計画の策定 (R3) ・ヤ・シイパークレンタサイクル施設の整備 (R3)	・トレイルランニングレースへの参加者数 R5：182 人 【課題】 ・旅行商品の継続的な企画・販売 ・新たな体験メニュー等、地域の観光素材を活用した観光商品の開発
地域の観光情報の発信	・市内観光施設等についての情報発信 ・地域の体験メニュー等提供団体によるウォーキング、トレイルランニング、マリンスポーツやサイクリングイベントの開催の情報発信 ・香南こら塩焼そばなど、地域の特産品を活用したメニューや飲食店等の情報発信	・旅行会社等に対する効果的なプロモーション ・地域の体験メニュー等提供団体の人材不足

第 5 期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
旅行商品の造成と販売 ■(一社)香南市観光協会 ・コースプランの作成、磨き上げ、販売 ・旅行会社等へのプロモーション活動 ・観光施設の連携強化のための香南市観光施設連絡会の開催 ■香南市 □県 ・支援制度についての情報提供	旅行商品の造成と販売の実施			
スポーツ・体験観光の推進 ■(一社)香南市観光協会 ・トレイルランニングレースの開催 ・スポーツイベント等の開催支援 ■地域の体験メニュー等提供団体 ・体験観光メニュー (みかん狩り、歌舞伎役者体験など) の造成、磨き上げ ■香南市 ・レンタサイクル事業の実施、各種サイクリングイベントの主催及び支援 □県 ・関係機関等への橋渡し	スポーツ・体験観光メニューの造成 既存メニューの磨き上げ			
地域の観光情報の発信 ■(一社)香南市観光協会 ・HP、SNS 等を活用した情報発信 ・香南こら塩焼そば等の地域の特産品やグルメ情報の発信 ■地域の体験メニュー等提供団体 ・こら等の地域の特産品を活用したメニュー開発及び提供 ■香南市 □県 ・SNS 等での情報発信への強力	インターネット、SNS 等を活用した PR の展開			
	地域の特産品を活用した メニュー開発及び提供			

修正後

物部川地域アクションプラン		分野	観光
AP 名 (実施地域)	No.14 香南市におけるスポーツ・体験観光等の取り組みの推進 (香南市)		
実施主体	◎(一社)香南市観光協会、香南市、地域の体験メニュー等提供団体		
AP への位置づけ	H21.4 月		
事業概要	香南市の自然や文化、歴史などの地域観光資源を活用したスポーツ・体験観光を推進するとともに、様々な観光スポット等と連携した周遊プランの造成・情報発信を行うことにより、地域外からの交流人口の拡大を図る。		

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
旅行商品の造成と販売	・(一社)香南市観光協会による旅行商品化に必要な香南市内の観光情報の一元把握（H21～） ・旅行商品の企画から販売までの体制の整備 ・香南市観光協会の一般社団法人化及び旅行業第 3 種の登録（H22）	【成果】 ・主要観光施設入込数 R5：<u>102.1</u> 万人 ・サイクリングイベントへの参加者数 R5：<u>300</u> 人
スポーツ・体験観光の推進	・レンタサイクル事業の強化、サイクルイベント等の実施（H30～） ・ヤ・シイパーク西側自転車道の開通（R2） ・物部川右岸河川敷自歩道の整備（R2） ・香南市自転車活用推進計画の策定（R3） ・ヤ・シイパークレンタサイクル施設の整備（R3）	・トレイルランニングレースへの参加者数 R6：<u>215</u> 人 【課題】 ・旅行商品の継続的な企画・販売
地域の観光情報の発信	・市内観光施設等についての情報発信 ・地域の体験メニュー等提供団体によるウォーキング、トレイルランニング、マリンスポーツやサイクリングイベントの開催の情報発信 ・香南ニラ塩焼そばなど、地域の特産品を活用したメニューや飲食店等の情報発信 ・<u>拠点施設の整備や受入対策等、観光博覧会開催に向けた準備を実施（R6）</u>	・新たな体験メニュー等、地域の観光素材を活用した観光商品の開発 ・旅行会社等に対する効果的なプロモーション ・地域の体験メニュー等提供団体の人材不足

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
主要観光施設入込数 (10 施設) ※	102.3 万人 (R4)				111.8 万人

※1 月～12 月

※主要観光施設：

県立のいち動物公園、月見山こどもの森、ヤ・シイパーク、絵金蔵、天然色市場、やすらぎ市、あぐりのさと、黒潮温泉、創造広場「アクトランド」、土佐カントリークラブ

第 5 期計画における行程表					
事業概要	R6	R7	R8	R9	
旅行商品の造成と販売 ■(一社)香南市観光協会 ・コースプランの作成、磨き上げ、販売 ・旅行会社等へのプロモーション活動 ・観光施設の連携強化のための香南市観光施設連絡会の開催 ■香南市 □県 ・支援制度についての情報提供	旅行商品の造成と販売の実施				
スポーツ・体験観光の推進 ■(一社)香南市観光協会 ・トレイルランニングレースの開催 ・スポーツイベント等の開催支援 ■地域の体験メニュー等提供団体 ・体験観光メニュー（みかん狩り、歌舞伎役者体験など）の造成、磨き上げ ■香南市 ・レンタサイクル事業の実施、各種サイクリングイベントの主催及び支援 □県 ・関係機関等への橋渡し	スポーツ・体験観光三宝山エリア（4 施設）での取組強化メニューの造成、既存メニューの磨き上げ				
地域の観光情報の発信 ■(一社)香南市観光協会 ・HP、SNS 等を活用した情報発信 ■地域の体験メニュー等提供団体 ・ニラ等の地域の特産品を活用したメニュー開発及び提供 ■香南市 □県 ・SNS 等での情報発信への協力	インターネット、SNS 等を活用した PR の展開				
観光博覧会の開催 ・<u>観光博覧会推進事業費補助金(市)による事業者支援</u> ・<u>三宝山エリア（4 施設）での取組強化</u> ・<u>3 市周遊ライドの開催</u> ・<u>あかおか町歩きガイド</u> ・<u>3 市周遊シャトルバス運行</u> ・<u>周遊タクシープラン</u> 等	地域の特産品を活用したメニュー開発及び提供				
	観光博覧会の開催				

修正前

物部川地域アクションプラン

		分野	観光
AP 名 (実施地域)	No.17 香美市における滞在型・体験型観光の推進 (香美市)		
実施主体	◎(一社)香美市観光協会、香美市、(株)香北ふさとみらい、地域内の観光施設、体験型観光メニュー等の提供団体		
AP への位置づけ	H28.4月		
事業概要	香美市の地域資源を生かした体験型観光メニューを充実させるとともに、主要な観光施設を核とした周遊プランの造成・情報発信を行うことにより、地域外からの交流人口増を図り、滞在型・体験型観光を推進する。		

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
体験型観光メニューづくりと推進	・アンパンマンミュージアム開館 25 周年記念行事（R3） ・龍河洞「西本洞/水の洞窟」オープン(R3)、龍河洞ナイト(R2～)等各種イベントの実施 ・べふ峡温泉における大栃中学校キャンプ体験（R2）、シカニクフェア（R3～）の実施 ・宿泊 3 施設（龍河温泉、湖畔遊、ヌックスキッチン）の新設・改修（R3）→観光施設等緊急整備事業費補助金（おもてなし旅館ホテル等環境整備緊急支援事業）の活用 ・香美市観光資源 PV 制作(R3)→新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用 ・「歴史・史跡に関する委員会」及び「宿泊・交通に関する委員会」を設置(H30) →「香美市はまっことえいくじゃき委員会」に統合(R4) 「ノルディック・ウォーキング体験会」（R4）、「巨木・銘木に出会う、香美（神）巡り」（R4）などの造成	【成果】 ・主要 3 施設(アンパンマンミュージアム、龍河洞、べふ峡温泉)の入込数 R4:226,203 人 ・ザ・シックスダイアリーかほくホテルアンドリゾートの宿泊客の増加 R2:5,649 人 →R4:6,097 人 ・「土佐塩の道トレイルランニングレース」の開催 R2:182 人 →R4:234 人 ・「土佐塩の道 30 kmうおーく」の開催 R3:97 人(※R2 は中止) →R5:125 人
観光協会の取り組みの推進	・観光協会の HP や SNS、広報誌を活用した情報発信 ・「香美市に泊まろうキャンペーン」（R3～）「香美市観光プレミアムチケット事業」の実施（R3） ・「香美市おしゃれ Cafe 巡りキャンペーン」(R4)の実施	【課題】 ・体験観光メニューの受入体制や窓口機能の強化 ・香美市観光協会と物部川 DMO 協議会が連携した新規イベントやツアーの定期的な開催、効果的な PR の実施 ・べふ峡温泉の利活用策の検討
香北エリアを中心とした観光活性化	・kami trip 学芸員とめぐるアンパンマンミュージアムとやなせたかしの聖地巡り（R3） ・天文講演会及び星空展望会、在所隕石里帰り展（R3）	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
主要観光施設入込数 （3施設）※	22.0 万人 (R4)				28.8 万人

※ 1 月～12 月

※主要観光施設：アンパンマンミュージアム、龍河洞、ザ・シックスダイアリーかほくホテルアンドリゾート

第 5 期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
体験型観光メニューの磨き上げ、新メニューの造成 ■(一社)香美市観光協会 ・「香美市はまっことえいくじゃき委員会」で造成した体験型観光メニューの磨き上げ及び新メニューの造成 ■地域内の観光施設、体験型観光メニュー等の提供団体 ・観光協会と協力し、体験型観光メニューの円滑な実施 ・観光協会への新メニューの提案 受入れ体制や窓口機能の強化 ■(一社)香美市観光協会 ・ガイドの育成、パンフレットの多言語化 ・地域内の観光施設及び体験型観光メニュー等の提供団体との連携による受入れ体制の強化 ■香美市 ・観光案内所「香美市いんふおめーしょん」の SNS 等を活用した情報発信機能の強化 □県（観光振興スポーツ部、地域本部） ・ガイド育成支援策等の情報提供	観光資源磨き上げ 新メニューの造成			
観光イベントの企画・実施、セールス活動、情報発信 ■(一社)香美市観光協会 ・観光イベントの開催、HP や広報誌を活用した情報発信 ・周辺観光施設と連携し、旅行会社等へのセールス活動の実施 ・こら等の地域の特産品やグルメ情報の発信 ・高知県観光キャンペーン等と連動した情報発信 ■地域の体験メニュー等提供団体 ・こら等の地域の特産品を活用したメニュー開発及び提供	イベント開催・情報発信			
周辺施設や地域との連携体制の構築 ■(株)香北ふさとみらい ・香北周辺の観光施設と連携した宿泊プランの造成 ・地域資源を活用した体験プログラムのメニュー化	関係機関との連携強化			

修正後 物部川地域アクションプラン		分野	観光
AP 名 (実施地域)	No.17 香美市における滞在型・体験型観光の推進 (香美市)		
実施主体	◎(一社)香美市観光協会、香美市、(株)香北ふるさとみらい、地域内の観光施設、体験型観光メニュー等の提供団体		
AP への位置づけ	H28.4月		
事業概要	香美市の地域資源を生かした体験型観光メニューを充実させるとともに、主要な観光施設を核とした周遊プランの造成・情報発信を行うことにより、地域外からの交流人口増を図り、滞在型・体験型観光を推進する。		

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
体験型観光メニューづくりと推進	・アンパンマンミュージアム開館 25 周年記念行事（R3） ・宿泊 3 施設（龍河温泉、湖畔遊、ヌックスキッチン）の新設・改修（R3）→観光施設等緊急整備事業費補助金（おもてなし旅館ホテル等環境整備緊急支援事業）の活用 ・香美市観光資源 PV 制作(R3)→新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用 ・「歴史・史跡に関する委員会」及び「宿泊・交通に関する委員会」を「香美市はまことといくじゃき委員会」に統合(R4) →「ノルディック・ウォーキング体験会」（R4）、「巨木・銘木に出会、香美（神）巡り」（R4）などの造成 ・<u>香美市宿泊施設等緊急整備事業の実施（R6）</u> ・<u>地域おこし協力隊(1名)の雇用（R6）</u> ・<u>観光ガイド養成講座の開催(R6)</u>	【成果】 ・主要 3 施設(アンパンマンミュージアム、龍河洞、べふ峡温泉)の入込数 R5:<u>252,278</u> 人 ・ザ・シックスダイアリーかほくホテルアンドリゾートの宿泊客の増加 R2:5,649 人 →R5:<u>6,347</u> 人 ・「土佐塩の道トレイルランニングレース」の開催 R2:182 人 →R4:234 人 ・「土佐塩の道 30 km 圏」の開催 R3:97 人(※R2 は中止) →R6:<u>124</u> 人 【課題】 ・体験観光メニューの受入体制や窓口機能の強化 ・香美市観光協会と物部川 DMO 協議会が連携した新規イベントやツアーの定期的な開催、効果的な PR の実施 ・べふ峡温泉の利活用策の検討
観光協会の取り組みの推進	・観光協会の HP や SNS、広報誌を活用した情報発信 ・「香美市に泊まろうキャンペーン」（R3～）「香美市観光プレミアムチケット事業」の実施（R3） ・「香美市おしゃれ Cafe 巡りキャンペーン」(R4)の実施 ・<u>観光ガイドブックの作成（R6）</u>	
香北エリアを中心とした観光活性化	・kami trip 学芸員とめぐるアンパンマンミュージアムとやなせたかしの聖地巡り（R3） ・天文講演会及び星空展望会、在所隕石里帰り展（R3） ・<u>アンパンマンミュージアム周辺会議の開催</u> ・<u>日ノ御子アウトドアフェスの開催（R6）</u> ・<u>拠点施設の整備や受入対策等、観光博覧会開催に向けた準備を実施（R6）</u>	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
主要観光施設入込数（3施設）※	22.0 万人（R4）				28.8 万人

※1月～12月

※主要観光施設：アンパンマンミュージアム、龍河洞、ザ・シックスダイアリーかほくホテルアンドリゾート

第5期計画における行程表					
事業概要		R6	R7	R8	R9
体験型観光メニューの磨き上げ、新メニューの造成 ■(一社)香美市観光協会 ・体験型観光メニューの磨き上げ及び新メニューの造成 ■地域内の観光施設、体験型観光メニュー等の提供団体 ・体験型観光メニューの円滑な実施、観光協会への新メニューの提案 受入れ体制や窓口機能の強化 ■(一社)香美市観光協会 ・ガイドの育成、パンフレットの多言語化 ・地域内の観光施設等との連携による受入体制の強化 ■香美市 ・SNS 等を活用した情報発信機能の強化 □県（観光振興スポーツ部、地域本部） ・ガイド育成支援策等の情報提供		観光資源磨き上げ 新メニューの造成			
観光イベントの企画・実施、セールス活動、情報発信 ■(一社)香美市観光協会 ・観光イベントの開催、HP や広報誌を活用した情報発信 ・周辺観光施設と連携し、旅行会社等へのセールス活動の実施 ・高知県観光キャンペーン等と連動した情報発信 ■地域の体験メニュー等提供団体 ・こら等の地域の特産品を活用したメニュー開発及び提供		イベント開催・情報発信			
周辺施設や地域との連携体制の構築 ■(株)香北ふるさとみらい ・香北周辺の観光施設と連携した宿泊プランの造成 ・地域資源を活用した体験プログラムのメニュー化		関係機関との連携強化			
観光博覧会の開催 ・<u>やなせたかしゆかりの地での観光ガイドの実施</u> ・<u>混雑緩和策の実施</u> ・<u>臨時観光案内所の運営</u> ・<u>やなせたかし関連の企画展、イベントの実施、情報発信</u> ・<u>周遊キャンペーンの実施</u>		観光博覧会の開催			

修正前

物部川地域アクションプラン

		分野	観光
AP 名 (実施地域)	No.18 龍河洞エリアにおける地域の活性化の推進 (香美市)		
実施主体	◎(公財)龍河洞保存会、(株)龍河洞みらい、龍河洞エリア活性化協議会、香美市		
AP への位置づけ	H29.9 月		
事業概要	日本三大鍾乳洞の一つに数えられ、高知県を代表する観光資源である龍河洞を中心として、国内外の観光客を誘致し、観光振興を図ることで地域を活性化する。		

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
龍河洞エリア活性化基本計画の推進及びエリア全体の振興策の検討	・龍河洞エリア活性化協議会の設立（H29.3） ・龍河洞エリア活性化基本計画の策定（H29.10） ・洞窟内のコンテンツの整備、駐車場整備等 →観光拠点等整備事業費補助金の活用 ・西本洞/水の洞窟オープン（R3.4） ・老朽化施設の解体、龍河洞情報館の整備等（R2～4） →観光施設等緊急整備事業費補助金の活用（R5.3 オープン） ・サイン整備（R5～6） →香美市観光拠点等施設等整備事業費補助金の活用	[成果] ・冒険コース体験者数 R2：1,629 人 →R4：2,419 人 ・西本洞体験者数 （開洞期間：4/29～10/31 頃） R3：144 人 →R4：152 人 ・雇用創出 R2：23 人 →R4：31 人 [課題] ・老朽化施設や閉鎖施設の活用方法 ・運営に係る人材不足
広報、PR 活動	・新聞、テレビ、地元情報誌等を活用した情報発信 ・旅行会社、ホテルへのセールス活動の実施（R2～） ・教育旅行説明会への参加、教育旅行用パンフレットの作成及び配布（R2～） ・教育旅行パンフレット（デジタル版）の作成、配信（R5～） ・情報館を活用した、普及啓発の実施（R5～） ・研究者、関係機関と連携した公開講座の実施（R4～）	
集客イベントの開催	・集客イベント（龍河洞祭り、クリスマス、正月等）の実施	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
観光客入込数※	13.0 万人 (R5)				16.5 万人

※1 月～12 月

第 5 期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
龍河洞エリア活性化基本計画の推進 ■(公財)龍河洞保存会、(株)龍河洞みらい、龍河洞エリア活性化協議会 ・サイン整備 ・基本計画の総括 ■香美市 ・補助金によるサイン整備の支援 ・基本計画の総括 □県（地域本部） ・基本計画の総括	サイン整備			
		基本計画の総括		
龍河洞エリア全体の振興策の検討 ■(公財)龍河洞保存会、(株)龍河洞みらい、龍河洞エリア活性化協議会 ・老朽化施設及び閉鎖施設の活用方法等の検討 ・閉鎖した民間施設への対応 ■香美市、□県（地域本部） ・活用可能な支援制度の情報提供		老朽化施設等の活用方法の検討		
広報、PR 活動 ■(公財)龍河洞保存会、(株)龍河洞みらい ・教育旅行のセールスの強化 ・海外からの旅行者や客船を対象としたセールスの強化 ・新聞、雑誌での情報発信、観光商談会等での PR 活動 ・学術研究成果の活用				
		広報、PR 活動		
集客力の向上 ■(公財)龍河洞保存会 ・運営に係る人材の確保・育成 ・集客イベントの開催 ■(株)龍河洞みらい ・集客イベントの企画運営				
		人材の確保・育成		
		イベントの開催		

修正後

物部川地域アクションプラン		分野	観光
AP 名 (実施地域)	No.18 龍河洞エリアにおける地域の活性化の推進 (香美市)		
実施主体	◎(公財)龍河洞保存会、(株)龍河洞みらい、龍河洞エリア活性化協議会、香美市		
AP への位置づけ	H29.9 月		
事業概要	日本三大鍾乳洞の一つに数えられ、高知県を代表する観光資源である龍河洞を中心として、国内外の観光客を誘致し、観光振興を図ることで地域を活性化する。		

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
龍河洞エリア活性化基本計画の推進及びエリア全体の振興策の検討	- 龍河洞エリア活性化協議会の設立（H29.3） - 龍河洞エリア活性化基本計画の策定（H29.10） - 洞窟内のコンテンツの整備、駐車場整備等 →観光拠点等整備事業費補助金の活用 - 西本洞/水の洞窟オープン（R3.4） - 老朽化施設の解体、龍河洞情報館の整備等（R2～4） →観光施設等緊急整備事業費補助金の活用（R5.3 オープン） - サイン整備（R5～6） →香美市観光拠点等施設等整備事業費補助金の活用 「ポケット学芸員」導入に向けた取り組み（R6～）	【成果】 - 冒険コース体験者数 R2：1,629 人 →R6：2,839 人 - 西本洞体験者数 R3：144 人 →R6：296 人 - 雇用創出 R2：23 人 →R5：33 人 【課題】 - 老朽化施設や閉鎖施設の活用方法
広報、PR 活動	- 新聞、テレビ、地元情報誌等を活用した情報発信 - 旅行会社、ホテルへのセールス活動の実施（R2～） - 教育旅行説明会への参加、教育旅行用パンフレットの作成及び配布（R2～） - 教育旅行パンフレット（デジタル版）の作成、配信（R5～） - 情報館を活用した、普及啓発の実施（R5～） - 研究者、関係機関と連携した公開講座の実施（R4～）	
集客イベントの開催	集客イベント（龍河洞祭り、クリスマス、正月等）の実施	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
観光客入込数※	13.0 万人 (R5)	13.8 万人			16.5 万人

※1月～12月

第5期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
龍河洞エリア活性化基本計画の推進 ■(公財)龍河洞保存会、(株)龍河洞みらい、龍河洞エリア活性化協議会 ・サイン整備 ・基本計画の総括 ■香美市 ・補助金によるサイン整備の支援 ・基本計画の総括 □県（地域本部） ・基本計画の総括 龍河洞エリア全体の振興策の検討 ■(公財)龍河洞保存会、(株)龍河洞みらい、龍河洞エリア活性化協議会 ・老朽化施設及び閉鎖施設の活用方法等の検討 ・閉鎖した民間施設への対応 ■香美市、□県（地域本部） ・活用可能な支援制度の情報提供	サイン整備	基本計画の総括	老朽化施設等の活用方法の検討	
広報、PR 活動 ■(公財)龍河洞保存会、(株)龍河洞みらい ・教育旅行のセールスの強化 ・海外からの旅行者や客船を対象としたセールスの強化 ・新聞、雑誌での情報発信、観光商談会等での PR 活動 ・学術研究成果の活用		広報、PR 活動		
集客力の向上 ■(公財)龍河洞保存会 ・集客イベントの開催 ■(株)龍河洞みらい ・集客イベントの企画運営		イベントの開催		

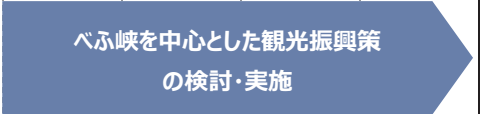
修正前

物部川地域アクションプラン		分野	観光
AP 名 (実施地域)	No.19 ベふ峡温泉を中心とした物部エリアの観光振興 (香美市)		
実施主体	◎ 香美市、(一社)香美市観光協会、観光事業者		
AP への位置づけ	R6.4 月		
事業概要	美しい自然に恵まれた奥物部のべふ峡温泉と周辺の観光資源を活用し、物部エリアの観光振興を図る。		

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
－（※）					

※今後の検討状況を踏まえて設定

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
べふ峡温泉の経営改善	・県内有数の紅葉の名所であるべふ峡へのさらなる観光客誘致に向けオープン（S60） ・専属のシェフによるジビエ料理を提供するほか、県の観光キャンペーンを活用し積極的な PR を実施 ・香美市に泊まろうきゃんぺーんへの参加（R3～5）	【成果】 ・べふ峡温泉利用者 H25：26,726 人 →R4：13,584 人 【課題】 ・べふ峡温泉の経営改善 ・物部エリアの観光資源の活用
べふ峡を中心とした観光振興	・物部川アメゴ釣り大会の開催（R4） ・物部大栃ノルディック・ウォークの開催（R4） ・土佐塩の道ウォークの開催（H21～） ・土佐塩の道トレイルランニングレースの開催（H24～R4） ・白髪山登山の開催（R4） ・シカニクの日イベントの開催（H27～R 元） ・シカニクフェア（R2～） ・べふ峡温泉ランチバイキングの開催（R5） ・べふ峡温泉「松尾酒造のお酒を楽しむ会」（R5）	

第 5 期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
べふ峡温泉の経営改善 ■ 香美市 ・新たな指定管理者の選定 ・温泉施設等の改修 ・経営改善に向けた具体策の検討・実施 □ 県（観光振興部、地域本部） ・活用可能な支援制度の情報提供				
				
べふ峡を中心とした観光振興 ■ 香美市、(一社)香美市観光協会、観光事業者 ・関係団体と連携した観光振興策の検討・実施 □ 県（観光振興スポーツ部、地域本部） ・活用可能な支援制度の情報提供				

修正後

物部川地域アクションプラン		分野	観光
AP 名 (実施地域)	No.19 ベふ峡温泉を中心とした物部エリアの観光振興 (香美市)		
実施主体	◎ 香美市、(一社)香美市観光協会、観光事業者		
AP への位置づけ	R6.4 月		
事業概要	美しい自然に恵まれた奥物部のべふ峡温泉と周辺の観光資源を活用し、物部エリアの観光振興を図る。		

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
べふ峡温泉の経営改善	・県内有数の紅葉の名所であるべふ峡へのさらなる観光客誘致に向けオープン（S60） ・専属のシェフによるジビエ料理を提供するほか、県の観光キャンペーンを活用し積極的な PR を実施 ・香美市に泊まろうきゃんぺーんへの参加（R3～5） ・<u>財務会計及び優位性分析調査（R5）</u> ・<u>高知県観光活用希望資産リストへの登録（R6）</u>	【成果】 ・べふ峡温泉利用者 H25：26,726 人 →R5：11,038 人 【課題】 ・べふ峡温泉の経営改善 ・物部エリアの観光資源の活用
べふ峡を中心とした観光振興	・物部川アメゴ釣り大会の開催（R4） ・物部大栃ノルディック・ウォークの開催（R4） ・土佐塩の道ウォークの開催（H21～） ・土佐塩の道トレイルランニングレースの開催（H24～R4） ・白髪山登山の開催（R4） ・シカニクの日イベントの開催（H27～R 元） ・シカニクフェア（R2～） ・べふ峡温泉ランチバイキングの開催（R5） ・べふ峡温泉「松尾酒造のお酒を楽しむ会」（R5） ・<u>奥ものベ青空市の開催(R4～)</u>	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
－（※）					

※今後の検討状況を踏まえて設定

第 5 期計画における行程表				
事業概要	R6	R7	R8	R9
べふ峡温泉の経営改善 ■ 香美市 ・新たな指定管理者の選定 ・温泉施設等の改修 ・経営改善に向けた具体策の検討・実施 □ 県（観光振興スポーツ部、地域本部） ・活用可能な支援制度の情報提供		指定管理者の選定	施設改修	
	経営改善策の検討		経営改善策の実施	
べふ峡を中心とした観光振興 ■ 香美市、(一社)香美市観光協会、観光事業者 ・関係団体と連携した観光振興策の検討・実施 □ 県（観光振興スポーツ部、地域本部） ・活用可能な支援制度の情報提供				べふ峡を中心とした観光振興策の検討・実施